

**道農連**

2017年(平成29年)11月6日発行(第56号)

**2017年10月の月間活動トピックス**HP <http://donouren.sakura.ne.jp/> ☎011-241-5416**平成30年度畜産物価格等の要請事項を決定／第3回酪農・畜産対策委員会**

道農連は10月23日に、第3回酪農・畜産対策委員会を開催し、平成30年度酪農畜産政策・畜産物価格等に関する要請事項を決定した。今回の要請では、酪農・畜産の食料自給率目標等の確実な達成と国境措置の確保、意欲と展望の持てる平成30年度畜産物価格の決定、多様な酪農・畜産を育てる経営安定対策、需給安定対策、生産基盤対策などの推進の3点を柱とした。これを踏まえ、11月28日～29日に農水省畜産部や国会議員への第1次中央行動を実施する。また、畜産物価格の決定時期などを踏まえ、12月中旬に第2次中央行動を行う予定だ。

なお、委員会終了後には、ホクレン酪農部と改正畜安法や30年度受託販売方針等について意見交換を行った。

**米の需給均衡化等を求め中央行動を  
第4回米・水田農業対策委員会**

道農連は10月26日に、第4回米・水田農業対策委員会を開催し、秋闘に向けた提言内容を決定した。平成30年度以降の米政策改革に向け、引き続き国の責務として米の需給均衡化を図るための生産調整の円滑な推進などに努めるよう要求する。

また、30年度予算関係では、水田活用の直接支払交付金の十分な予算確保や交付対象農地の見直しに伴う農家負担の軽減等も求める。11月14日～15日に中央行動を実施し、農水省やJA全中等に要請や意見交換を行う。

**道農連女性書記の会定期総会・研修会を開催**

道農連女性書記の会は10月3日に、第56回定期総会と研修会を開催した。研修会では、中原浩一道農連書記長が「農業情勢・組織のあり方」と題して講演を行った。翌日は、美瑛町で美瑛選果などの視察研修を実施した。

**10月の活動記録(上記以外)**

- 4日 国際貿易交渉を考える道民会議幹事会
- 13日 本道の種子生産に係る意見交換
- 17日 食料フォーラム2017  
「酪農のこと知っていますか？」
- 27日 免税軽油対策で道庁技術普及課と意見交換

**満額予算の確保や卸売市場法堅持など要請  
第3回畑作・野菜対策委員会**

道農連は10月30日に、第3回畑作・野菜対策委員会を開催し、畑作・野菜対策における秋闘の基本方針を確認し、持続可能な本道畑作・野菜政策に関する提言を決定した。畑作対策については、平成30年度国費概算要求で新規に30億円が盛り込まれた「ばれいしょ増産輪作推進事業」の満額確保を求める。また、野菜対策では、規制改革推進会議で議論されている卸売市場法について、堅持を重点に運動展開し、11月15日～16日に中央行動を実施する。なお、委員会終了後には、道庁農政部とばれいしょ輪作増産体系などについて意見交換を行った。

**11月の活動予定**

- 1日 食・みどり・水を守る道民の会幹事会  
道てん菜協会理事会  
新たな加工原料乳補給金制度の地方説明会
- 2日 道てん菜協会原料てん菜受渡現地調査  
道子実コーン組合現地検討会・シンポジウム  
道南地区農民連盟研修・道農連来局
- 4日 卸売市場法見直しで札幌果菜との意見交換
- 11日 矢臼別移転実弾演習に関する反対集会
- 14日 米・水田対策中央行動(～15日)
- 15日 畑作・野菜対策中央行動(～16日)
- 17日 食とみどり、水を守る全国集会(～18日)
- 20日 全道書記長・事務担当者研修会
- 28日 第1次酪農・畜産対策中央行動(～29日)

◎詳しくは、「北海道農村新聞」(年間購読料1,800円・税込)をご覧ください。

お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局(TEL011-241-5416)まで。